

片平地区社会福祉協議会

# ふれあい 片平

発行 令和8年4月

## 福祉委員全体研修会 開催 梶賀千鶴子さんに学ぶ 『いのちの役割 人生の磨き方』

東日本大震災から15年目の令和8年3月12日、片平市民センターで、片平地区社会福祉協議会の福祉委員全体研修会を開催しました。

講師にミュージカル作家・振付師として、今も現役で活躍中の梶賀千鶴子先生をお招きし、お話を伺いました。

昭和20年7月、仙台空襲の数日後、木炭自動車の中で未熟児で生まれ、命のあることの大切さや自分という存在に向き合い続けてきた梶賀さん。

好奇心旺盛だった幼少期や劇団四季の海外公演や国内でのミュージカルの演出など梶賀さんの多彩な経験から人生の磨き方や前向きな生き方を学びました。

最後には梶賀さんからストレッチや発声法を教わり、参加者全員で肩甲骨を意識して首や手足を伸ばし、「あいうえお」と大きな声を出して、笑顔で締めくくりました。



講師:梶賀千鶴子先生

### エネルギー！元気をもらいました！

—受講者の感想から—

- 自分は何かをするために生まれてきた、何かをするために与えられた命という言葉が印象に残りました。自分の役割を意識して日々を過ごそうと思いました。
- 自分を愛するとはこういうことだったのだと学びました。嬉しいときは心から喜び、悲しいときはそれを心から悲しむ。そうすることによって他人を愛せるのだと。
- 日常の暮らしのヒントがちりばめられていました。自分の生活にないものに興味を持つ、日常から自分を演出するなど素晴らしい言葉をいただきました。
- 命の役割を知り、自分が何の立場で生きるかを考えるなど感じ入る言葉がたくさんありました。
- 「生きる」事を改めて考えさせられ、気持ちも、体もすっと伸びた気がしました。



### みんなの居場所 片平寺子屋



山形代表より  
老若男女問わず、地域のみんなの居場所になってほしいと願っています。ぜひ気軽にいらしてください。サポーターも募集中です。

令和7年10月、子どもたちと地域の方々が気軽に立ち寄れる場所『片平寺子屋』が開設されました。

子どもたちは宿題をしたり遊んだり、地域の方々は飲み物を片手におしゃべりを楽しんだり、それぞれ思い思いに過ごしています。ここに来ると気持ちが軽くなる—そんな居場所を目指して、月に一度開催しています。

昨年度は昔遊び（けん玉やマジック）やワークショップ、手話体験、絵本の読み聞かせなどのイベントも行われました。4月からは片平市民センターの助成団体となり、センター1階で開催されます。

片平地区における新たなコミュニティの場『片平寺子屋』。世代を超えた交流は、地域の活性化を担って行くことでしょう。皆様もぜひ気軽にのぞいてみませんか。★次回開催 5月16日（土）13:00～15:00 内容：手話で歌おう

## ◆◆福祉班活動報告◆◆

### ♪琴♪演奏会 《花壇大手町福祉班》

10月29日(水)老人憩いの家にて、生田流正派邦楽会師範 小山朋子さんと生徒さんによる琴の演奏会が開催されました。演奏曲に合わせて5台の琴を弾き分け、希望者にはさくらさくらの曲の手ほどきも頂いて、とても有意義な楽しいひとときでした。



### 暮らしに花を 《大広会福祉班》

10月22日(水)良覚院丁緑水庵にて「サロン大広会」を開催。今回は「暮らしに花を」をテーマに、福祉委員指導のもと、生け花風やアレンジ風に自由に花を活けていただきました。同じ花材を使っても仕上がりは人それぞれの個性あふれる作品が出来ました。お互いの作品を比べて褒め合ったり、感心したり。持ち帰った花をどこに飾ろうかとおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしました。



### 気持ちは十代 生涯現役！高齢者見守り活動 《北目町福祉班》

北目町は集会所がありませんが、委員のアパートの一室を借り高齢者の見守り活動を行っています。委員の皆さんも見守られる側がほとんどですが、心は若さいっぱい、十代のような気持ちで配食サービスをしています。お弁当はとても喜ばれており、いつも皆さまからお礼の電話をいただきます。若さ溢れる北目町福祉班です。



### 高齢者の皆さまの健康を願って 《米ヶ袋福祉班》



米ヶ袋福祉班では、年2回70歳以上の世帯への安否確認を行い、訪問時ささやかなプレゼントとその時々役に立ちそうなリーフレットを持参します。今回は「見落としがち！低栄養を予防しよう」と、早朝・夜間・休日専用の「せんだい高齢者・家族の安心ダイヤル」を選びました。リーフレットを参考に、簡単な工夫でバランスの良い食事が摂れることを知っていただきたいと思います。

### 世界に一つのクリスマスリース 《柳町福祉班》

11月30日(日)柳町集会所にて、町内ゆかりの花屋さんご指導のもと、クリスマスリースを作りました。子どもたちやお母さま方と楽しみながらも皆さん無我夢中。完成したリースは世界に一つのものということで、大変満足していただけたようです。



### 多世代が一緒に「花壇作りと芋煮会」 《霊屋下福祉班》

秋の花植えの後は芋煮会！すっかり恒例行事になり、子どもから高齢者まで皆さん楽しみに参加します。この日は福祉班の活躍ぶりが一層発揮されます。11月15日(土)参加者25名で冬の花壇に衣替え。第二市営住宅広場ではその後の芋煮会を楽しみに、大人に交じり6名の子どもたちも張り切ってお手伝い。イチョウ広場では高齢者や家族連れ90名が肩を寄せ合い、福祉班総出で腕を振った山形風と仙台風の二つの味を楽しみました。会場ではつき雀の皆さんが踊りを披露してくださり、人々が集う楽しさを一層感じた一日となりました。

